

# 学校行事

勤劳生産・奉仕の行事

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立可部南小学校	校長氏名	加藤 繁	生徒指導主事氏名	勘場 啓史
-----	------------	------	------	----------	-------

**取組事例名 『地域清掃』**

**取組のねらい『キーワード 地域貢献』**

- ・自分たちが日常利用している公園や校外学習で学習活動の場となる河川敷などの清掃活動を通して、地域社会へ貢献していこうとする態度の育成をめざす。
- ・学年，または異学年との交流による活動を通して，力を合わせて活動する喜びや楽しさを経験する。

**取組の具体的内容『キーワード つながり・協力』**

- ・学年ごとに年間 2 回の地域清掃を実施する。（1 年生は 6 年生と一緒に清掃活動を行う）
- ・日頃自分たちが利用している公園や生活科や理科などの学習の中で使う河川敷など，生活や学習との繋がりのある場所の清掃活動を行う。
- ・分別収集を心がけ，どんなゴミが多いか，どんな場所に捨てられているのか，どうすればゴミを減少させることができるのかを考えさせる。

月	学年	場所	月	学年	場所
5	4 年	可部南第 2 公園	11	4 年	可部南第 1 公園・友広神社
6	3 年	根の谷川河川敷	12	2 年	可部南第 2 公園
7	2・5 年	可部南第 1 公園	2	1 年	可部南第 2 公園
9	1・6 年	可部南第 2 公園	2	5 年	可部南第 2 公園
10	3 年	根の谷川河川敷	3	6 年	可部南第 1 公園・友広神社

**取組の課題・創意工夫『キーワード 生活・学習とのつながり』**

○創意工夫 ▲課題

- 1，2 年生については，1 回目の地域清掃を 6，5 年生と一緒に実施することで，清掃の仕方を学ぶことができる。また，異学年交流の場としても活用できる。
- 日常の生活と結びついた場所であったり，学習で利用する場所であったりすることで，児童の関心や意欲を高めることができる。
- ▲ 地域の方が日頃から清掃されているため，ごみの量が比較的少ない。
- ▲ 清掃に適した場所が限られているため，どの学年も同じ場所の清掃になっている。

**取組の成果（効果）『キーワード 今後の活動につなげる』**

- ・ごみの量の多さやごみの種類を知ることで，ポイ捨ての問題点や公共施設を利用する時のマナーについて，学級全体で考え，学習を深めることができた。
- ・多くの児童が清掃活動によって，自分達の住む町のより良い環境づくりに貢献していることを実感することができた。
- ・2 年生と 5 年生，1 年生と 6 年生と一緒に清掃活動をすることで，より親密な関係をつくったり，清掃の仕方や手順を学んだりすることができた。

〈思ったこと・考えたこと〉 6年女子

ペットボトルや缶は、近くに自動販売機のごみ箱があるので、そこに捨てればいいのになあと思いました。かくして捨てるぐらいなら持って帰って捨てる方がいいと思います。ごみ箱を公園に設置すればいいと考えました。ごみ箱を設置すれば、ポイ捨てる人も少しはへると思うからです。それとみんな公園にある注意書きを読んでいないんだと思います。注意書きの看板をもっと見えやすい所に置いたらいいんじゃないかと思いました。



〈思ったこと・考えたこと〉 6年男子

たばこやガラスの破片が思っていたよりもたくさんありました。そして、ぱっと見るとごみはそこまで見つからないけれど、かくれたところにたくさん小さいごみがありました。一番びっくりしたのが、大きいごみも遠慮なく捨ててあることです。いろいろな人が持って帰らなかったり、ごみ箱に捨ててなかったりしていることが分かりました。ポスターなどを作ればいいと思いました。

#### 今後の展開『キーワード 仲間、地域とつながる』

- ・縦割り班を活用して、地域清掃を実施する。
- ・地域の団体や保護者との連携も視野に入れた取組を考える。
- ・清掃場所をもっと増やして、町全体の美化を考えていく。

#### 他校へのアドバイス『キーワード みんながつながる』

児童・生徒の教育や指導に可能な限り地域の教育力を繋げていくこと。地域の教育力を活用することが大切です。ただし、それが児童・生徒や教職員の過度な負担となってしまうのは逆効果になってしまうので、バランス感覚を持って行うことが重要です。

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立江波小学校	校長氏名	保手濱 和益	生徒指導主事氏名	田村 康雄
-----	-----------	------	--------	----------	-------

## 取組事例名 『小中合同地域ボランティア清掃』

## 取組のねらい『地域貢献・小中合同』

- ・ 地域のために貢献し、社会の一員としての自己有用感を味わう。
- ・ 中学生と合同で活動することで、中学校進学に向けての希望を持たせる。

## 取組の具体的内容『地域清掃』

12月4日（金）1・2校時、江波中学校2年生と6年生（計 152名）、地域の方々や6年生の保護者（約 50名）が一緒になって、江波山公園の清掃を行った。小学生・中学生と地域・保護者が6グループに分かれ作業した。大量の落ち葉と空き缶や空き瓶等の資源ごみで用意していたごみ袋（701）が200袋を超えた。



## 取組の課題・創意工夫『教科との関連づけ』

11月、6年生の国語科「ふるさとの良さをしょうかいしよう」では、改めて江波の良さを確認し、それをリーフレットにまとめ、親戚に手紙を送る学習活動を行った。

調べる段階で、地域の人や祖父母などに取材を行ったりインターネットや本などで確認したりした。江波山気象館やエバヤマザクラなどのそれぞれのグループの発表の際、「ふるさとを大切にしたい」、「江波の歴史を守りたい」などの感想が児童から出てきた。

その感想を広げて、江波山での小中合同の地域ボランティア清掃への取組に繋げた。

## 取組の成果（効果）『郷土愛』

中学生が中心となり、江波山の枯れ葉やごみなどの収集を行った。児童は、中学生や地域の方々と交流し清掃を行う中、ごみの多さにびっくりしたり、たくさんの方々により地域が守られていることに気づいたりした。児童の感想には、「自分たちにできることから始めたい」とあった。6年生の道徳の単元「小さい子からもらった幸せ」の導入で、地域ボランティア清掃での活動を振り返り、意欲付けを行った。自分たちの体験活動を導入部分で活用したので、積極的に発表することができ、これまでの自分を振り返り、今後の自分の行動を改めようとする発表や感想があった。



### 今後の展開『中1ギャップの解消』

11月、6年生はすでに小中部活交流に参加した。部活を教えてくれた中学校2年生は、6年生が中学校に進学した際に3年生の生徒である。2月には、中学校の先生方による授業体験が計画されている。



### 他校へのアドバイス『系統性』

中学生と小学校6年生の交流は、どの学校でも行われている。他教科との関連性を持たせることを意図することによって、より効果が上がると考える。

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立尾長小学校	校長氏名	福馬 亮	生徒指導主事氏名	堤 信之
-----	-----------	------	------	----------	------

**取組事例名 『クリーンマイタウン二葉』**

**取組のねらい 『地域を大切にしようとする心を育む・小・中学校のつながりを強化する』**

本取組のねらいは、「地域を大切にしようとする心を育むとともに、小・中学校のつながりを強化し、小学校から中学校への学校生活が、より円滑に移行できること」を目指したものである。

(平成 27 年度 まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業)

**取組の具体的内容 『共同清掃作業』**

中学校区の小学校 6 年生と中学校 2・3 年生で構成する小グループごとに清掃場所（(例) 地域の公園、集会所、神社、陸橋、区役所、保育園、小学校、中学校、道路など）を割り当て、児童・生徒が協力しながら保護者や地域の方々と一緒に清掃活動を行う。



打ち合わせをしている様子



作業の様子



作業の様子

**取組の課題・創意工夫 『自主性』**

自分達が日々生活している地域の清掃活動をすることで、地域を大切にしたいという思いを持てるような活動にしていかなければならない。また、保護者や地域の方と一緒に活動することで、自分達が地域の方々に支えられて日々生活していることに気づかせたい。保護者や地域の方から声をかけられることで、「つながり」を形成していくようにする。小学生は中学生に比べ、活動への当事者意識が低い。当事者意識をもたせるための事前指導の充実（内容、時間確保）が課題である。

**取組の成果（効果） 『つながりの形成』**

清掃活動をしていく中で、中学生が小学生に教える場面が見られる。「つながり」ができることで、安心して地元の中学校に進学することができる。また、地域の保護者の方からの評価によって、子どもの自尊感情が高まり、様々な活動に積極的に取り組もうという意欲につながる。共に活動することで、「安心感」と「つながり」が生まれてきている。

## 今後の展開『共通理解』

中学校区の学校，地域，保護者で活動をするために，事前に綿密な打ち合わせを行う必要がある。確かな共通理解の上で活動を行えば，より効果的な活動ができると考えられる。また，子どもたちへの事前指導を具体的，丁寧に行えば，活動の意義や意図を理解した上でより積極的な活動ができると考えられる。

## 他校へのアドバイス『連携は人』

「連携は人」である。担当者との「つながり」（関係づくり）が，組織連携の効果を左右する。担当者との「つながり」を築くためには，何度も足を運ぶことが大切である。繰り返し，繰り返し足を運ぶことで，少しずつ関係ができてくる。何度も顔を合わせ，語り合うことで，学校の思いや考えを少しずつ理解してもらえるようになる。同時にこちらも関係機関の思いや考えを理解する努力をすることが大切である。一方的に依頼するのは，連携ではない。組織相互の思いを理解し，共有し，尊重することが真の連携につながっていくと考えている。

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台西小学校	校長氏名	市川 洋	生徒指導主事氏名	上田 肇
-----	--------------	------	------	----------	------

## 取組事例名 『阿品台クリーン活動』

## 取組のねらい『キーワード 人間関係作りと自己有用感』

- ・数年後の中学校生活を踏まえ、他校種の児童生徒との人間関係づくりを図る。
- ・奉仕の心や自己有用感を育てる。
- ・自分たちが生活している地域に愛着を持たせる。

## 取組の具体的内容『キーワード 地域に愛着を』

## 事前指導

- ・小学生は地域清掃のねらいと活動について知り、どのような気持ちで臨むかを考え、活動の準備をする。小学生の代表はあいさつの内容を考える。
- ・中学生は開会式・閉会式の進行、グループ活動の進行の仕方を学び、小学生とどのように活動していくかを考える。

## クリーン活動

- ・小学校に集合し同じグループで顔合わせをする。簡単なオリエンテーションをしてお互いの顔と名前を覚える。
- ・それぞれの掃除場所へ移動して、中学生のリーダーシップのもとに清掃活動をする。

## 事後指導

- ・3つのねらいをもとに活動の振り返りをして、お互いの感想文や手紙などで交流する。

## 取組の課題・創意工夫『キーワード 中学生が主体となって』

## 創意工夫

・会の運営は中学生が主体的に行う。開・閉会式の司会進行は中学生がする。グループ活動では、中学生のリーダー、副リーダーがグループをまとめ、オリエンテーションをしたり清掃活動の指示をしたりする。オリエンテーションでは、どのように自己紹介するとお互いのことが分かり合えるかを考えた。清掃も中学生と小学生がペアになったり、グループを作ったりと工夫した。

・クリーン活動は1学期に1回、2学期に1回あるが、最初は中学2年生と小学

6年生が行い、2回目は中学1年生と小学5年生が行う。このペアは来年、再来年に中学1年生と3年生として同じ中学で生活することになる。

## 取組の課題

- ・3校の学校が集まる機会を年に何度も設定するのが難しい。1回の活動も阿品台西小学校が少し離れているため、移動時間がかかりかかるため活動時間を1時間くらいしか取ることができない。



### 取組の成果（効果）『キーワード 自己有用感』

・中学生が出身小学校に来て、後輩に掃除を教えたりリーダーシップを発揮することで、自分の成長を感じ、自己有用感を高めている。活動後に後輩からありがとうのメッセージや手紙を受け取り、さらに自己有用感を高め、自信をつけている。

・小学生と一緒に活動する中で、入学後の部活動誘いの話をする中学生もいる。誘われた小学生も中学校での知り合いが一人増えて、入学後の安心感にもつながっている。小学生からも中学校の疑問なども聞くことができている。



### 今後の展開『キーワード 活動の広がり』

・中学生が主体となって、小学生と一緒にできる活動を工夫して、さらに広げていきたいと考えている。今年度は、9月に中学3年生が出身小学校に出向き、掃除を一緒にして掃除の仕方を教えてくれる出前掃除を実施した。オープンスクールでは、小学6年生に中学生が部活の体験をさせてくれている。2月の入学説明会では生徒会が中学校生活について話をしてくれる予定になっている。以前は授業の交流も実施したことがある。

### 他校へのアドバイス『キーワード 定例の活動にする』

・今年度行った活動は阿品台3校が不登校対策指定校になってからずっと続けられている。10年間の積み重ねは大きく、毎年必ず行う行事として定着している。児童・生徒も行うことが当然と思っている。ここ数年は地域の方や保護者も参加し、活動の幅が広がっている。

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立本郷小学校	校長氏名	西田 千加子	生徒指導主事氏名	溝上 孝弘
-----	-----------	------	--------	----------	-------

**取組事例名 『本郷小クリーン大作戦』**

**取組のねらい『キーワード 自己肯定感を高める』**

- 家庭や地域と一体になった体験活動を行う中で、児童の自己有用感を高め、社会参加の意欲や態度など豊かな心を育てることにより、生徒指導上の諸問題の未然防止を図る。
- 縦割り班による異学年集団で活動することにより、役割を明確にし、自己効力感を高めていく。

**取組の具体的内容『キーワード 役割の明確化と達成感』**

事前

- 児童会による行動提起（代表委員会）
- 道徳の時間での全校同時期・同価値項目の授業（勤労 奉仕）で価値の温めを図る。
- 6年生の事前準備（リーダーとしての役割 当日の役割分担 動きの確認）
- 縦割り班による打ち合わせの会（6年生が全員にねらいと役割、方法を説明）

当日

- 開会式
- 縦割り班ごとの清掃（保護者 地域の方と共に）
- 各班ごとの振り返り

事後

- 異学年間のがんばりを評価するカード交換
- 地域の声を掲示、生徒指導だよりで紹介する。



J R 本郷駅でのはじめの式

**取組の課題・創意工夫『キーワード 役割取得』**

- 事前に全学級で「勤労 奉仕」の価値項目で道徳の授業を行った。その際、展開後段で間近にせまったクリーン大作戦に対する思いを書き、交流する中で「実践意欲」を確かめあうことができた。
- 昨年度まで清掃区域は学年ごとで行っていたが、リーダーを中心にした役割意識を明確にしていくために縦割り班活動で行った。
- 当日も地域・保護者の方の協力を依頼し、温かい声掛けやアドバイスをいただけるようにした。

**取組の成果（効果）『キーワード 自己有用感』**

- 道徳の時間に温めた思いを「生徒指導だより」で家庭・地域に発信し、児童のクリーン大作戦に対する意気込みを事前に家庭・地域に伝えることが出来た。(①)
- 6年生の事前準備を綿密に行うことで、リーダーとして動ききろうという意識を高めていくことができた。その結果、当日も積極的な声掛けや率先して働こうとする姿を多く見る事ができた。また、縦割り班にしたことで、特に低学年に対する優しい声掛けやアドバイスが多くあり、低学年にとってもモデルとなる姿を見ることができた。(②)
- 地域の方、地域の施設（J R職員）の方の励ましの声や、清掃後の感謝の言葉をいただくことで地域に貢献できた喜びを実感することが出来た。(③)
- 事後、縦割り班ごとに振り返りを行い、お互いのがんばりを認め合うことができた。また、異学年同士でがんばったところをカードで交換し自己有用感を高めていくことができた。(④)

**生徒指導だより** 本郷小学校 1000  
10月25日(金)

**心つないで**  
家庭・地域・学校へ

**10月30日 本郷小クリーン大作戦**

日時 10月30日 13:20～14:45  
場所 倶利伽羅池  
参加校 本郷小学校、東郷小中学校、本郷南小中学校、本郷南小学校

10月30日、本郷小学校クリーン大作戦を行いました。先ず児童会本部役員が代表委員会として「おなじみの倶利伽羅池をわたしたちの手で美しく保ちたい」という思いを全校児童に伝達を行いました。その後、各学年を1グループとする縦割り班で、清掃活動を行いました。

地域に出で活動を行うことで、自分の役割を果たし、自分が地域のために貢献していることに誇りを感じたいと思います。そのためにも、地域・保護者の方々の協力や支援が不可欠なものであることをしっかりと認識してほしいと思います。

**子どもが活躍！**

**①生徒指導だよりで家庭・地域へ発信**



**②6年生から低学年へのアドバイス**



**③地域・保護者の方の温かい声掛け**

**本郷小学校クリーン大作戦！ 作戦カード**  
(2)班 班長( )

掃除場所 本郷駅 さいぶ売り場

めあて 責任をもってがんばる！

準備するもの ほうずり(2柄) モップ(1柄) コミぶくろ } 持てくも  
モウさん たわし(5A) 異音

学年	名前	役割	学年	名前	役割
4年	しん	モウさん	4年	しん	ほうずり
4年	れん	モウさん	4年	れん	たわし
1年	すん	モウさん	5年	さん	たわし
2年	たくん	たわし	5年	公ひ	モウさん
2年	kさん	モウさん	6年	月くん	モップ
2年	いん	たわし	6年	田	たわし
3年	こさん	モウさん			
3年	アさん	ほうずり			
3年	ろとん				

振り返り 班のみんな、自分の役割に責任を持ってできたのでよかったです！みんな仲良く協力してできました！！

**④6年生が計画し、振り返りをする。**

**今後の展開『キーワード 学んだ価値を温める』**

- 事後、6年生の道徳の時間で本郷小学校の伝統について話し合っていく中、縦割り班で行う「クリーン大作戦」を伝統としてこれからも続けてほしいという声が多く出た。この声を直接5年生に伝えていく。
- 学校掲示、生徒指導だより等で児童の声、地域の声を伝え、学んだ価値を温めていく。
- 児童会の動きを継続して支えていく。

**他校へのアドバイス『キーワード 複数体制』**

- 児童会を中心として、児童が主体的に動ける支援が重要になる。複数体制で、6年担任と細かく連携をとりながら、時間を確保し進めていく。

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立落合中学校	校長氏名	原之園 和弘	生徒指導主事氏名	渡邊 陽一
-----	-----------	------	--------	----------	-------

**取組事例名 『スーパーキラキラ大作戦』**

**取組のねらい『自己有用感の向上』**

- ・ 小中学生が一緒に活動し、ふれあいと心の交流を深める。
- ・ 中学生が小学生をリードすることで、生徒の自己有用感を高める。

**取組の具体的内容『異年齢集団でコミュニケーション能力を育成』**

- ・ 中学校 3 年生と学区の 2 つの小学校の 3・4 年生が 5 名前後でグループを組み、地域を掃除する。
- ・ 中学生がそれぞれのグループのリーダーとなり、事前に地図を見ながら清掃のルートを考えてとともに、小学生と一緒に行動するにあたってのコミュニケーションスキル（あいさつ・身なり・言葉・態度）を学ぶ。
- ・ 当日は、グループごとにゴミ袋と火ばさみ等を持ち、一時間程度地域を回ってゴミを拾う。
- ・ ゴミを拾った後に、各小学校に戻り、ゴミを分別する。



- ・ 事後に振り返りをそれぞれ行うとともに、お互いに手紙を書いて交換する。
- ※ この取組は、9 年前に学区の小学校が地域清掃をする際に、中学生にも協力してほしいという願いを受け、スタートした。現在まで継続して取り組んでいる行事である。

**取組の課題・創意工夫 『事前・事後の指導』**

- ・ 事前に小学生の代表数名が中学校を訪ね、中学生に協力を依頼する。中学生にとっては「頼りにされている」という気持ちを持って行事に取り組んでいる。
- ・ 事後に振り返りをさせるとともに、お互いに手紙を書いて交流を深めた。
- ・ 9 年間継続した取組であり、一つの伝統的な行事となっているが、形骸化が見られる。

**取組の成果（効果）『地域を知る 行事の継承』**

- ・ 課題のある生徒も小学生との会話を楽しみ、手を繋いで歩くなど、非常によい表情で小学生とともに活動することができた。
- ・ 小学生に頼られることで中学生が自己有用感を高めることができた。
- ・ 小学生の時に「スーパーキラキラ大作戦」を経験した生徒は、立場が変わって、中学生として参加することで、責任等を再確認できた。
- ・ 地域を一緒にまわることで地域の様子を知ることができた。
- ・ 小学生にとって「頼れるお兄さん、お姉さん」といった理想の『中学生（上級生）像』を描くことができた。
- ・ 異年齢の集団との関わり方、コミュニケーションのスキルを身につけることができた。

#### 【生徒の感想より】

- ・ 4年生とは、自分が小6の時に遊ぶなどして仲がよかったから、みんな知っていたし、覚えてくれていたのでうれしかったです。
- ・ 小学生が勝手に行動したり、言うことを聞いてくれなかったり、ちょっと大変だった。でも小学生と仲良くなれて良かった。
- ・ 自分もこんなだったのかなと思うこともあった。小学生の元気にふりまわされたりもしたけど、良い経験になったし、楽しかった。

#### 【この行事でわかったこと・成長できたこと（生徒アンケートより）】

- ・ 小さな子への接し方が分かった
- ・ 相手に合わせることの大切さに気付いた
- ・ あいづちの大切に気付いた
- ・ ちゃんと向き合えば応えてくれることに気付いた

#### 今 後 の 展 開『地域行事との連動』

- ・ 12月にふれあい活動推進協議会主催で地域清掃を行っている。中学生は部活単位でボランティアとして参加しているが、この「スーパーキラキラ大作戦」での交流をきっかけに小学生も誘いながら参加できるような状況となれば理想的である。

#### 他校へのアドバイス『他の行事との連動』

- ・ 自己有用感の低い生徒が多いため、小中連携の中で、中学生としての誇りを持たせることを特に意識した。
- ・ 小中連携が単発の行事で終わらないように、夏休みに小学校の補習の手伝いをする「サマースタディサポート」や合唱祭前に小学校に合唱を披露する「出前合唱」など一連の行事として取組を進めた。

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校特別活動の取組事例」

学校名	広島市立江波中学校	校長氏名	大本 司	生徒指導主事氏名	望月 慶輔
-----	-----------	------	------	----------	-------

**取組事例名 『小中合同地域清掃』**

**取組のねらい『キーワード：地域の中学生として』**

- ・ 地域のために貢献し、社会の一員としての自己有用感を味わう。
- ・ 小学生と合同で活動することで、協調性やリーダーシップを育てる。

**取組の具体的内容『キーワード：地域と共に』**

- ・ 地域の方、保護者、小学生と共に、自分の出身の地区の公園、道路などを清掃する。



- ・ 最初の対面式、最後の反省会などの司会、進行を中学生が行う。



- ・ 事後の取組として、小学校へのメッセージカードを作成する。



### 取組の創意工夫『キーワード：みんなを巻き込んで』

- ・ 小学生だけでなく、地域の方、保護者の方と事前に連携し、各公園での清掃活動に参加してもらう。

### 取組の成果（効果）『キーワード：つながり』

- ・ 小学生には、中学生の様子を知ってもらうことで、安心して入学してもらえる。
- ・ 中学生には、先輩としての自覚ある行動、リーダーシップを発揮する場となり、自己有用感を高める機会となる。
- ・ 地域の方に、中学生の姿をみてもらうことで、地域でも声をかけやすくなる。
- ・ 保護者の方に、中学生と一緒に掃除をしてもらい、会話のきっかけにしてもらう。

#### <中学生から小学生へのメッセージ>

「地域清掃と一緒にできてとても良かったです。6年生のみなさんと交流できました。」

「葉っぱもたくさんあったのに、掃除しているうちにきれいになりました。」

「本当にありがとうございました。」

「寒い中、お疲れ様でした。小6のみなさんが手伝ってくれたので、すごく公園がきれいになりました。みんな協力してできたので、とても楽しかったです。一緒に掃除してくれて、ありがとうございました。来年、入学してくるのを、楽しみにしています。」

「今日はお疲れ様でした。今日の交流で、みんなが協力してくれたので、とても早く掃除が終わりました。みんなで協力して掃除をすることで、6年生のみんなのを知ることができてよかったです。掃除は大切なことなので、これからも続けてくださいね。」

### 今後の展開『キーワード：さらにつながる』

- ・ 小学校へのメッセージカードを作成することで、さらに小学生に安心感、有用感をもってもらいたい。
- ・ 地域、保護者が中学生を見かけたときに、声をかけるきっかけづくりと捉え、今後も地域の行事等への積極的な参加を仕組む。(例：地域での祭りのボランティア参加等)

### 他校へのアドバイス『キーワード：段取り』

- ・ 小学校との連携はもちろん、各地区の町内会との打ち合わせ、PTA、保護者との打ち合わせ、必要物品の準備、ゴミの処理の連携など、非常に多くの段取りが必要となるが、その過程も含めて、地域との連携を深めることにつながっている。

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	校長氏名	坂元 弘	生徒指導主事氏名	河本 春彦
<b>取組事例名 『府中町生徒指導推進事業に於けるクリーンキャンペーン』</b>					
<b>取組のねらい『キーワード ボランティア活動』</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中町内の小、中学校及び高等学校、家庭、地域、関係機関及び教職員が一体となった体験活動を行う中で、児童生徒の自尊感情を高め、社会参加の意欲や態度などの豊かな心の育成を図る。</li> </ul>					
<b>取組の具体的内容『キーワード 生徒主体の活動』</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中町内全小中学校、安芸府中高等学校、保護者、地域の方、関係機関の方と一緒に町内の清掃活動に取り組む。</li> <li>・清掃活動においては、府中中学区と府中緑ヶ丘学区に分かれ町内一斉清掃を実施する。</li> <li>・基本的には、部活動単位で呼びかけをし、ボランティア参加を募る。</li> <li>・基本的な取組内容をもとに、児童、生徒の執行部（生徒会）を中心に小中連携を実施、児童、生徒会議を持たせて取組を進める。実際に清掃活動の場所の決定、確認や地図の作成と説明、準備するものなどを児童、生徒の会議を通して進めていく。</li> </ul>					
<b>取組の課題・創意工夫『キーワード 共感的な人間関係』</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この取組は町内一斉清掃におけるボランティア活動であるが、今後児童、生徒が主催する異年齢交流活動などの取組を通して、上級生が下級生のことを思いやり、下級生が上級生を尊重しながら行事や活動などを性別や学年などの違いを超えて、互いに協力できるような取組を工夫していく。</li> </ul>					
<b>取組の成果（効果）『キーワード 小中連携』</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中町生徒指導推進事業の活動計画において、ボランティア活動（町内一斉清掃）を児童、生徒を中心に組みこむことで、児童生徒の自尊感情を高めることができた。また地域を巻き込むことで地域との関わりを持つきっかけもでき、いろいろな意味で府中町内の学校を町ぐるみで捉えてもらえる事になったと思える。</li> </ul>					
<b>今後の展開『キーワード 生徒指導三機能を生かした取組』</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の特別活動での取組において、一人一人の自発的な思いや願いを大切にすることや互いの協力や助け合い互いの良さを認め合うこと、また、自己の生活改善や進路などに関し、自己実現の喜びを味わわせるなど「自己存在感」や「共感的人間関係」、「自己決定」を本質においた取組にしていく。</li> </ul>					
<b>他校へのアドバイス『キーワード 児童・生徒の実態の把握』</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の児童、生徒の実態をあらためて把握することにより、生徒指導の三機能を生かした取組を特別活動にどう生かして行くかを校内で検討し、児童、生徒の自発的な活動をどう仕組ませるのが重要なポイントになると思われる。学校の行事等が児童、生徒の主体的なものになるよう取組を実践していくことが大切である。</li> </ul>					

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立吉田中学校	校長氏名	友繁 孝実	生徒指導主事氏名	三宅 伸之
-----	-------------	------	-------	----------	-------

**取組事例名** 『レッツ・クリーン吉田』**取組のねらい** 『小中連携』

生徒会活動の一貫として、児童と生徒が地域の清掃活動を通じて、仲間づくりの意識を高め、小中のつながりをさらに深める。

**取組の具体的内容** 『ボランティア清掃活動』

8月6日（木）の6時30分に3つの小学校にそれぞれの出身小学校の生徒・児童が自主的に集って、清掃活動を行った。生徒会のメンバーが、リーダーシップを取ってメンバー決めやコース設定をして、地域清掃を行う社会奉仕活動である。

**取組の課題・創意工夫** 『同一日三小学校同時開催』

昨年までは3つの小学校の開催を別日で実施してきたが、本年度は各小学校出身の生徒会メンバーがそれぞれ自覚を持って、この活動を主体的に運営した。また、生徒・児童みんなが心をつなげて同じ地域をきれいにするために、同一日同時開催で実施とした。生徒会メンバーの人数が限られているため、運営が自分たちだけでできるか心配されたが、少人数でもお互いに協力し合って運営を行い、地域社会への奉仕活動をアピールすることができた。

**取組の成果（効果）** 『集団づくりのきっかけ』

同じ出身小学校の生徒たちが地域を清掃することで、集団づくりのきっかけができたことが大きな成果だった。3年生は、主体的に2年生や1年生の動きを常に見て、指示を出したり行動したりと、学校の最上級生として自覚を深めて、責任を果たすべく行動するようになった。さらに、この上級生が下級生にモデルとして手本を示す動きが広がって、2大行事である体育祭や文化祭においても運営をスムーズに進める原動力になった。

**今後の展開** 『3小学校との合同挨拶運動』

3小学校のうち吉田小学校とはともに、生徒指導集中対策指定校であることから、この清掃活動に加えて、児童会・生徒会主体の挨拶運動をこれまでに実施してきた。この取組は、中学校だけの活動ではなくて、小学校との小中連携の活動の大きな柱の1つとなっている。今後は、可愛小学校や郷野小学校にも活動を広げて挨拶運動を年間で複数回実施していく予定である。

**他校へのアドバイス** 『ピア・サポート効果』

生徒は、清掃や挨拶という同じ目的の活動を年下の児童と一緒にすることで、年上としての自覚に目覚める。これらの取組は、児童・生徒同士の相談相手や相談相手まではいかなくても支えたり、励ましたりする仲間（ピア・サポーター）を児童・生徒の中で作る効果がある。

<b>取組事例名</b>	『生徒指導オリエンテーション』
<b>取組のねらい</b> 『 規則の意識統一 』	
<p>吉田中学校では、毎年年度はじめに学校行事として生徒指導オリエンテーションを行っている。これは4月に全生徒がそろった日の1時間目に学校生活で最低限必要な規則の確認を生徒と職員でともに行い、意識統一をして清らかな気持ちでスタートすることを目的としている。</p>	
<b>取組の具体的内容</b> 『 学校生活の規則の徹底 』	
<p>生徒指導主事をはじめとする生徒指導部の職員が、生徒指導方針に沿って、生徒指導規程を生徒と職員全員に配布して、学校生活で最低限必要な規則の確認をする。</p>	
<b>取組の課題・創意工夫</b> 『 ポイントの絞り込み 』	
<p>学校生活で最低限必要な規則と一言で言っても、かなりの内容の話をしなければならないので、各担当者が持ち時間内で重要なポイントに絞り込んで話をする。</p> <p>さらに、基本的な集団行動のパターン、日常生活の規則や学習規律など、それぞれの担当者が視覚教材を活用したり、パフォーマンスを交えて、工夫を凝らして説明を行っていく。</p>	
<b>取組の成果（効果）</b> 『 緊張感のあるスタート 』	
<p>全校集会において生徒指導オリエンテーションは行うので、1年生は2、3年生の緊張感のある姿から引き締まったスタートが切れる。上級生の2、3年生も、以前に同じ話を聞いていても、毎年この時間に学校の規則を再認識することで、緊張感を持って一年のはじめを迎える。</p>	
<b>今後の展開</b> 『 生徒の主体的な力 』	
<p>これまで生徒指導オリエンテーションにおいては、職員の話による取組が大きな割合を占めていた現状がある。これからは、生徒会執行部の生徒を正しい服装のモデルとしたDVDを作成して活用したり、あるいは生徒会執行部のメンバーによるアピール活動を取り入れるなど、生徒に主体的に取り組ませる内容を仕組んでいく。</p>	
<b>他校へのアドバイス</b> 『 轍は熱い内に打て！ 』	
<p>本校の特徴として、一番良いタイミングで生徒に指導を入れることがある。生徒指導オリエンテーションもその指導の1つである。4月にスタートを切って2日目の1時間目は、まさに生徒に指導を入れる最高のタイミングである。</p>	

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立本郷中学校	校長氏名	原 克幸	生徒指導主事氏名	片山 新
-----	-----------	------	------	----------	------

**取組事例名 『本郷中校区クリーン活動』****取組のねらい『キーワード 地域に出る』**

- ・自分が住んでいる地域の人に気持ちのよい挨拶をし、ゴミ拾いや掃除をすることで、地域の一員であることを再確認する。
- ・ゴミ拾いや掃除をすることで、環境を守ろうとする気持ちや、「できることをしよう」というボランティアの気持ちへの理解を深める。

**取組の具体的内容『キーワード 小グループで生徒主体』**

- ・本郷中学校校区、各地域の公園等の施設に拠点を置き、公園等の施設およびその周辺を清掃する。
- ・生徒の住所をもとに全校生徒を12の縦割り班にし、リーダーと担当教員を決める。
- ・リーダー会を行い、それぞれの班の中で小グループをリーダーが決め、清掃ルートを決めた。
- ・前日に各地域で事前ミーティングをし、清掃グループのメンバー・清掃ルートの確認を行った。
- ・当日はリーダーの司会で運営を行い、その場で出来るだけ分別をした。
- ・ゴミは教員が学校に持ち帰った。

**取組の課題・創意工夫『キーワード 早期計画早期提案』**

- ・計画を早くから立てて教職員への周知を早くすればよかった。
- ・掃除道具(ひばさみ)を生徒全員分用意した。(購入と他校からの借用で)
- ・班の中での小グループや清掃ルートをリーダーに決めさせた。

**取組の成果(効果)『キーワード 一人一本で積極的』**

- ・一人一本ひばさみを持って清掃したことで、積極的にゴミを拾うことができた。
- ・地域貢献の意識が高まった。
- ・地域の方とコミュニケーションがとれた所もあった。
- ・地域の方から、お礼のこたばを頂いた場所もあった。

**今後の展開『キーワード 保護者を巻き込む』**

- ・今年度はまだ1回しかできていないので、活動回数を増やす。
- ・参観日等の行事と合わせて、保護者と一緒に活動ができるように計画をする。

**他校へのアドバイス『キーワード 外へアピール』**

- ・校外で生徒が頑張っている様子を見てもらうことで、地域の方からの信頼を得る。

三年男子

今回のクリーン活動は、多くの場所でゴミがたくさんあり、寒い中とても大変でした。

しかし、ゴミの少ない所もあり、地域の人にきれいに使ってもらっているなあと感じ、そして自分たちもきれいに使って大切にしていけないと思いました。

また、落ち葉が多い所もあり、ひばさみの他に竹ぼうきなども必要だったかなあと思ったので、次にこのような機会がある場合は、新しい生徒会で準備等を考えてほしいと思いました。



三年女子

私は、今回クリーン活動でサブリーダーを務めさせていただきました。最初は、ちゃんと務めることができるだろうかと思ったけれど、みんながすぐに指示を聞いてくれたので、スムーズに楽しく行うことができました。

また、私が担当した地区はゴミが少なかったもので、ゴミをポイ捨てる人が少ないことがわかったので、うれしかったです。この調子でどんどん本郷のゴミを減らしていけたらなあと思いました。



三年男子

今年から初めてこのクリーン活動を始めましたが、僕たちの地域はたくさんゴミがあっぴびっくりしました。特に、公園などの中ではなく、車がよく通る道路沿いにたくさん落ちていました。だから来年は、道路沿いを中心にそうじをした方がいいなあと思いました。

今回の活動で、地域の人たちも話しかけてくれて地域の人たちとの関わりも深くなった

と思いました。また、道路沿いで僕たちがそうじをすることで、車に乗っている人もたばこなどを捨てなくなるのではないかと思います。今回、活動をしてよかったです。



## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立福山商業高等学校	校長氏名	中原 朗	生徒指導主事氏名	高橋 利宜
-----	--------------	------	------	----------	-------

**取組事例名** 『校外清掃』**取組のねらい** 『地域貢献』

LHR を利用し、学年単位で学校周辺の清掃活動を行うことで地域貢献をするとともに、挨拶等とおして地域との交流を図る。

**取組の具体的内容** 『全員参加』

- ・地域の方々の学校に対する思いや、寄せられた苦情等について SHR 等で紹介し、福山商業生が地域からどのように捉えられているのかを理解させ、自らの取るべき行動について考えさせる。
- ・学校周辺をいくつかの区画に分け、クラスごとに清掃する。
- ・実施直前に、学年主任が校外清掃の趣旨等について再度説明を行う。
- ・担任と副担任が引率し、清掃に真剣に取り組ませる。

**取組の課題・創意工夫** 『交流』

- ・清掃とともに、挨拶を積極的に行うことで地域との交流を深める。
- ・生徒との対話とおして、教師と生徒の人的ふれあいを深める。
- ・各学年が各学期 1 回ずつ、年間計 3 回実施する。
- ・クラスごとで行うため、担任と副担任による引率では目が行き届かない部分がある。
- ・地域や家庭へ積極的にアピールし、保護者や地域と協力して清掃活動を行うなど、活動の幅をさらに充実させる必要がある。

**取組の成果（効果）** 『地域の目』

- ・地域住民の方との交流を深めることができ、さらに地域における学校への評価をダイレクトに知ることができる。
- ・学校周辺での登下校マナーが改善し、ゴミの散らかしや喫煙等に関する苦情が大幅に減少している。数年前は毎日のように苦情が寄せられていたが、今年度は月 1 件程度で推移している。
- ・清掃に取り組む生徒が増加し、机上や個人ロッカーなどでの散らかしやジュースの空き缶等のポイ捨てなどが減少し、教室環境が整うなど、校内環境に改善が見られる。
- ・校外の環境美化への貢献とおして、校内の環境美化に積極的に取り組む生徒も増加している。各学期末の終業式では、半数以上のクラスが清掃活動に 80%以上参加したことで表彰されている。



- ・PTA 主催の校内清掃に部活動の生徒を中心に約 30 名が参加した。



### 今後の展開 『 ボランティア活動 』

- ・生徒の有志を募り、定期的にボランティア清掃を行う。
- ・PTA や地域の方々との連携を深め、清掃活動を行う。
- ・地域の行事等に参加し、清掃等のボランティア活動を行う。

### 他校へのアドバイス 『 率先垂範 』

- ・教師が常日頃から教室環境整備等に率先垂範して取り組むことで、生徒の行動変容を促し、校外清掃に真剣に取り組む生徒も増加している。